

地域交通マネージャー

氏名	加藤 博和(かとう ひろかず)
所属・役職	名古屋大学大学院環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター 臨床環境学コンサルティングファーム部門 教授 (兼任:環境学研究科都市環境学専攻)
所属先住所	〒464-8603愛知県名古屋市千種区不老町C1-2(651)
得意分野	法制度、調査、分析、設計、評価、利用促進その他(情報提供、実務担当者への講演・講義等、事業者との連携)
メールアドレス	kato@genv.nagoya-u.ac.jp ※を@に変えて送信してください。
主たる活動地域	地域問わず

主な経歴	1994年 名古屋大学大学院工学研究科地圏環境工学専攻博士課程前期課程修了 1997年 名古屋大学大学院工学研究科地圏環境工学専攻博士課程後期課程修了(博士(工学)) " 名古屋大学大学院工学研究科地圏環境工学専攻助手 2001年 名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻助教授 2007年 名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻准教授 2017年 名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター教授
------	---

マネージャー 関連実績	地域公共交通プロデューサーとして、自治体・地域住民団体や交通事業者・労働組合等と協力しての「現場」での公共交通企画・助言に携わり、講演活動も行っている。名古屋周辺を中心に地域公共交通関連の審議会・委員会に40箇所ほど参画。「明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会」が平成22年に、「北設楽郡公共交通活性化協議会」が平成24年に、「高山市公共交通活性化協議会」が平成26年に、地域公共交通優良団体表彰を受賞。国では、平成18年改正道路運送法の方針づくりに参画し、地域公共交通会議の枠組を提案、その考え方は翌年の地域公共交通活性化再生法制定に受け継がれた。平成25年には国土交通省「交通政策審議会」委員(環境部会・自動車部会・地域公共交通部会)に就任し、活性化再生法改正や、自家用有償運送の地方への権限移譲の検討に関わる。その他、詳細はホームページ参照。 http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kato/jkato.htm#KOUKEN
----------------	---

マネージャーからの 一言	地域公共交通への取り組みは、少子化高齢化社会、地球温暖化対応という今日的な課題を解決し、さらに地域が輝き続けるためには非常に重要なものである。しかしながら、その取り組みの方向性は地域の実情に応じて行われなければならない。グローバルなルールの中で地域にとって必要な公共交通をいかに「つくり」「守り」「育てる」か?そのためには、現場の状況を把握し、地域が積極的に参画した公共交通としていくためのサポートが必要不可欠である。そのような取り組みを行おうという意欲を持つ自治体や地域、そこに参画し支援したいと考える交通事業者やNPO等と一緒に形をつくっていくのが私の役割だと考えている。地域公共交通づくりは地域づくりの第一歩。意識を共有できる皆様と仕事できることを楽しみにしている。
-----------------	--